

2013年度活動結果報告

1. 総括的な活動結果

2013年度は地球規模での異常気象現象による記録的な猛暑、大雨、土砂災害、45年振りといわれる豪雪被害に見舞われた年でした。

今年度はボランティアの原点を見つめ直す事を目標に掲げ活動を展開しました。それは時間預託の会員相互扶助のナルク活動が空回りすることの無いようにコーディネーター・提供者・利用者の拡充を目指して、各地区に足を運び話し合いを重ねてきた1年でした。その結果、地区サロンや親睦会など各地区の独自性を取り入れた積極的な取り組みが持たれるようになり、地区会員の活性化が図られたと実感しています。

会員の高齢化は否めない事実ですが、一例として、新たに開始した「青色防犯パトロール活動」は、シニア世代に出来る奉仕活動として多くの会員のご賛同を得て予想以上の活動となり次年度も引続き活動を充実したく思います。

会員増加の取り組みとしてはイベント会場等でガイドブックの配布、ハンドマッサージ等PR活動を実施しましたが、入会者に対し退会者が上回る結果となり、残念ながら会員増にはつながりませんでした。

東日本大震災被災地支援として9月に3回目のパラソル喫茶支援に4名を派遣しましたが、宮城県の仮設住宅の皆様と交流を図る中で、この災害が風化することのないように引続き支援活動を継続することの必要性を強く感じました。

ナルクが創立20周年を迎えます。NALC「天の川クラブ」におきましても記念総会や記念イベントに向けて準備を進めました。20周年の集大成として『20周年記念誌』の編纂に取り組みました。そして、行政及び関係機関と連携を深めて、協調を図る事を目的に種々の行事にも積極的に参加いたしました。

※ 2013年度に実施しました主な活動内容と実績は、「時間預託活動」別表1を「奉仕活動」は別表2をご参照ください。

2. 時間預託活動

担当 近藤秀子・蕎麦谷東造

会員相互扶助活動はナルク活動の大きな柱の一つです。住み慣れた地域で会員が助け合い、支え合って心豊かな生活を送ることが私たちの望みです。

(1) 会員相互扶助活動

家事支援の提供者も年を重ねて活動が減って来ています。それはコーディネートの困難さにつながっており、提供者の発掘が急がれます。

庭の手入れは、提供者の高齢化に伴い、簡易な草引き・水やりを基本にした活動を行いました。なお、剪定・樹木の消毒などについては、他地区と連携して対応しました。

ハウスヘルパーは、コーディネーター2人で専門的スキルを要する作業にも、迅速な提供活動を心掛けた結果、当初計画を上回る活動実績となりました。

送迎は、外出・移動の困難な会員への支援ですが、利用者の生活の質を高める事を目指した活動を行いました。

パソコン指導は、利用者のニーズに合わせて幅広く助言・指導を行うと共に電話による相談、遠隔操作による指導等も行いました。

(2)福祉施設活動

植本壽満枝

NPO 法人として、福祉施設への活動を通して地域社会に貢献し、会員自身の生きがいにもつながる大切な活動として実施しました。

「サンセール香里園」、「エイジフリー・ライフ星が丘」とともに、活動内容に於いては大きな変化は見られなかったが、特に後者では会員の高齢化に伴い、提供者が減少傾向にあり、提供者の配分に担当者は苦慮しています。

3. 奉仕活動

担当 植本壽満枝・東平守弘

(1)福祉施設支援の「サンポエム」、「エイジフリー・ライフ星が丘」、「ひらかた聖徳園」、「その他福祉施設」においては、日常的な配膳・下膳、季節毎のイベント、その他、地区会・文化部・同好会等も積極的に参加し精力的に活動を展開しました。

(2)子育て支援

「子供安全見守り隊」は各地域に密着した活動で子育てに貢献しました。

「親子広場支援」はファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん、2013 年度から新たにファミリーポート(広場さぶり)が加わり3箇所の活動となりました。

各施設とも地理的に交通の便が悪く、提供者不足は次年度への課題となりました。

(3)環境美化

この活動は天候に左右され活動できない日もあり計画未達となりました。

活動者を増やす対策を検討中です。

(4)その他外部活動

地域社会貢献の一環として8月から青色防犯パトロール活動を開始しました。

マイカー及び福祉車含め15台と60名を超える登録会員により枚方市内全域を網羅し、地域の防犯、子供の安全見守りなど抑止効果のある活動となりました。

4. 事業活動

担当 和田亮吉

枚方市から受託した3事業は、市民を対象とした地域貢献の事業活動です。

NALC「天の川クラブ」の維持管理運営・発展に寄与する重要な活動です。

(1)「在宅生活援助受託事業」は、市民への「家事支援」で2013年8月から他の事業者も参入したこともあり、活動時間は計画に対し大幅に減少しました。

(2)「生きがい創造学園受託事業」は、60歳以上の市民を対象とした各種講座を運営する事業で、2013年度は一部カリキュラムを見直し、受講者が楽しく学び「生きがい」にチャレンジする暮らし作りに寄与することが出来ました。

(3)「生涯学習情報プラザ受託事業」は、本年度の総利用者は前年に比べやや減少しました。各種講習会は、ミニ体験(大人対象)おもしろパソコン教室(小学生対象)デジタル写真取り込み体験(大人対象)等の講習会を実施しいずれも好評に推移しました。

5. 文化・スポーツ活動

担当 梅田壽雄

部活動への参加人員は年々減少しています。特にスポーツ部は、天候に左右され中止等もありましたが高齢化の影響もあると感じております。

反面、文化部の参加人員は若干増加しているものの全体では2,259名と前年比108名減となりました。健康麻雀「雀」は会場確保が困難なため休部となり文化・スポーツ部は12グループとなりました。

また、同好会活動はせっかく立ち上げたにもかかわらず加入メンバーが少ないため残念ながら廃止された会もありますが、新たに『あま卓球楽友会』が誕生し同好会は10グループとなりました。

今年度も竹遊会、『遊びの玉手箱』、楽しいオカリナ、マジック友の会、オー・ジーンズ、盆踊り同好会は地域の子育てや福祉施設での活動を通じて地域への貢献に寄与いたしました。

「ふれあいルーム」のギャラリー展示は大変好評で会員の作品や丹精込めた作品で毎月賑わしてくれましたが、このところ出展希望者が少なく苦慮しています。

6. 会員活動促進

担当 山田 徹

会員同士の親睦を図り、活動に積極的に参加出来る環境を整え、且つ改善し各分野の活動のレベルアップと活性化に努めました。

(1) 地区会

3年間継続してきた「地区会の充実と活性化」は、各地区年2回以上の実施と地区会員の方々の創意工夫により、地区会への参加者の増加や、ナルクへの関心度の高まり等、活性化を図ることが出来ました。

(2) 会員研修

会員研修は、会員の知識・技能の向上を図るため、「コーディネーターフォローアップ研修」「心身の健康度アップの医療落語」「車椅子介助操作研修」の実施や本部のリーダー養成講座に参加しました。

研修はいずれも好評であり、今後の活動に期待がもてます。

(3) イベント

今年度のイベントは、定時総会(6月)、NPO フェスタ(9月)、『秋のつどい』(10月)、「レオマの森」への一泊バス旅行(11月)を行いました。

特に12年間続けてきました『秋のつどい』は、会員の高齢化に伴い今年度を最終回として、幕を閉じました。

来年度以降は、新たな「催し」を考えています。

(4) 活動区分別交流会

各分野にて活動している会員が同じ活動する仲間との意思疎通・親睦・情報交換のための交流会です。

2012年度の反省を基に各計画は積極的に開催する予定でしたが、2013年度計画比60%と結果は非常に低調でした。しかし回数・参加者数は昨年比10%アップとなり、活動内容は評価できます。

(5) 誕生月会

誕生日を迎えられた会員の方に対し、4月より「誕生月カード」をお届けしております。多くの方々よりお礼のお言葉が届きました。

7. 事務局活動

担当 和田亮吉

- (1) 会員管理新システムN-one 導入から1年を経過、パソコン入力作業及び活動報告書のチェック作業もスムーズに行き事務処理が大幅に短縮されました。
- (2) 来所者への対応として、運営委員等による日直も定着してきました。
- (3) 広報・渉外活動については、「NPOフェスタ」や「ひらかたまつり」等のイベント時にNALC「天の川クラブ」の冊子を配り会員の勧誘に努めました。